

道路空間を活用した EV路上カーシェアリング社会実験 第3回協議会

- ①社会実験内容
- ②工事進捗状況

令和6年9月

近畿地方整備局 大阪国道事務所

①社会実験内容について

1. 社会実験の背景

- 社会実験において、EV路上カーシェアリング社会実験により社会受容性等を把握し、今後の水平展開により、環境負荷軽減を目指す

【社会実験目標】：路上におけるEVカーシェアリングの社会受容性やカーボンニュートラル、交通利便性向上の有効性把握

■社会実験での取組概要(案)

- ・民間事業者を公募し、EV車でのカーシェアリングを実施



▲路上カーシェアリングステーションの整備事例（東京都港区新橋）

×



▲EV充電機器の整備事例（横浜市青葉区）

- ・2050年カーボンニュートラルの実現を目指した「道路におけるカーボンニュートラル推進戦略」にあった取組を推進

①道路交通の適正化

②低炭素な人流・物流の転換

⇒新たなモビリティ・公共交通等、低炭素な交通手段の利用促進

③道路交通のグリーン化

⇒次世代自動車の普及
⇒道路空間における発電・送電・給電・蓄電の取組

④道路のライフサイクル全体の低炭素化

▲道路分野のカーボンニュートラル推進戦略の4つの柱

（出典）道路におけるカーボンニュートラル推進戦略 中間とりまとめ（国土交通省 R5.9）

■検証イメージ

- ・EV路上カーシェアリングの社会受容性：カーシェアリング利用者数、歩行者や自動車交通への影響評価 等
- ・カーボンニュートラル、交通利便性向上の有効性：今後の利用意向、他交通モードでのアクセス性評価 等

社会実験の狙い

- ・路上でのEVカーシェアリング導入による環境負荷軽減(カーボンニュートラル)
- ・交通利便性向上の強化 ⇒ 利用者が交通を選択しやすい環境構築

京阪神都市圏での水平展開を目指す

2. 社会実験の目的・概要

目的

道路分野におけるカーボンニュートラルの取組みとして、JR大阪駅など鉄道駅周辺の国道1、2号の路上にEVカーシェアリングステーションを設置し、鉄道とEVカーシェアリングの組み合わせによるCO2排出の削減等や、交通利便性向上、災害時の有効活動の検証を行います。

実験概要

○実験期間: 令和6年10月1日(火)～令和7年12月末(予定)

※実験期間は、延長する場合がある。

○実験箇所: 大阪府大阪市北区梅田・東天満・福島区福島

国道1、2号の道路上5箇所

○運営車両: 日産サクラ(EV車)

○運営方式: ラウンドトリップ方式※

○運営時間: 0:00～24:00(24時間)

○実験主体: 道路空間を活用したEV路上カーシェアリング
社会実験協議会

国交省、大阪府警察本部、大阪市、実験参加者、
梅田2丁目振興町会、西阪神桜橋商店会、
福島連合町会、東天満1・2丁目振興町会

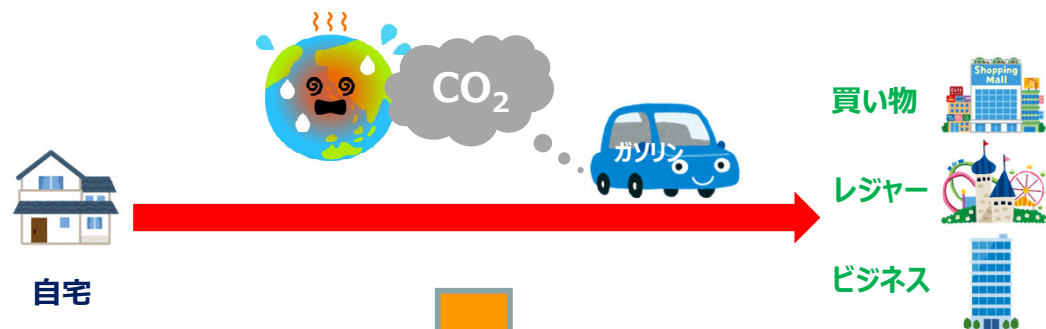
○実験参加者: タイムズモビリティ株式会社

○カーシェアリング利用方法: タイムズモビリティ株式会社が運用する
「タイムズカー」にて予約し、利用。

※車を借りた場所と返す場所が同じ方式

レール×EV路上カーシェアリング

従来



CO2排出量の削減

EV路上カーシェアリング

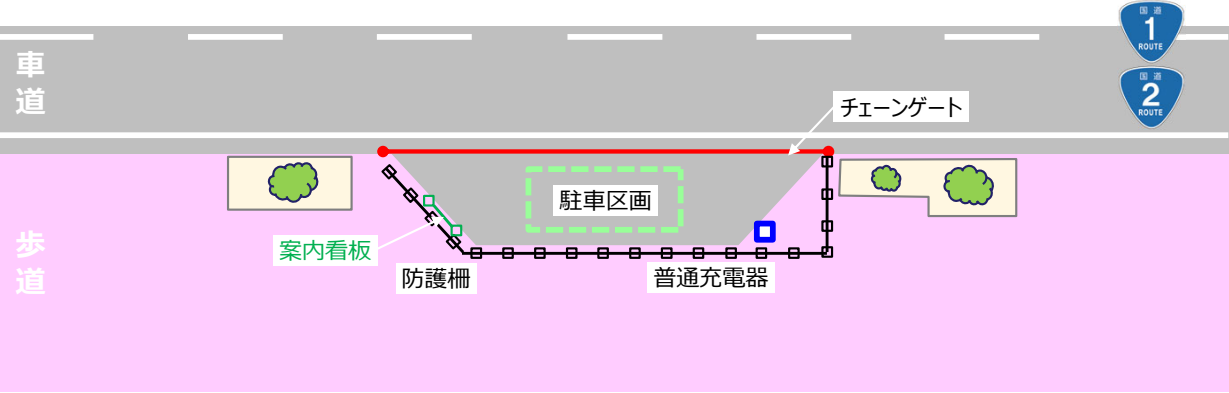


3. EV路上カーシェアリングステーションの設置箇所

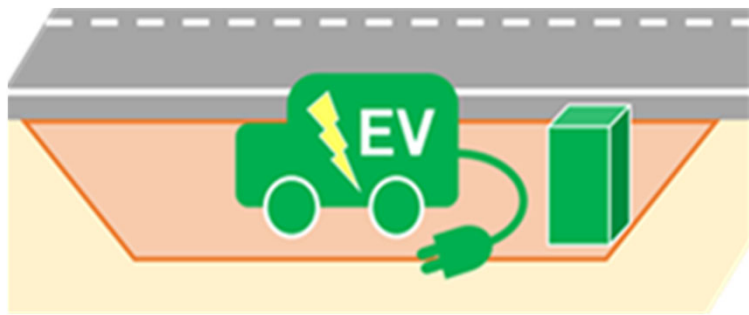
➤ 国道1号・国道2号の路上に、計5箇所のEV路上カーシェアリングステーションを設置し、社会実験を実施する。



配置イメージ



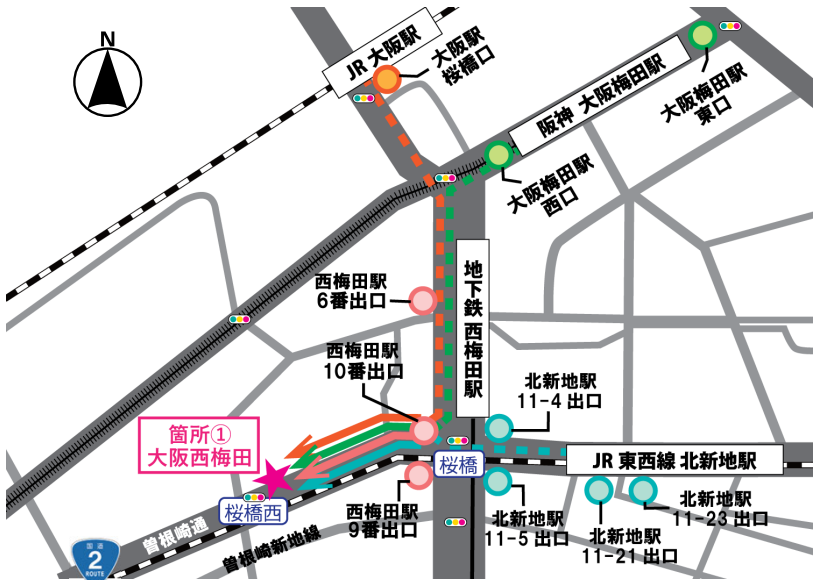
設置イメージ



4. 箇所別の案内 箇所① 【路上】大阪西梅田(EV)L・Dステーション

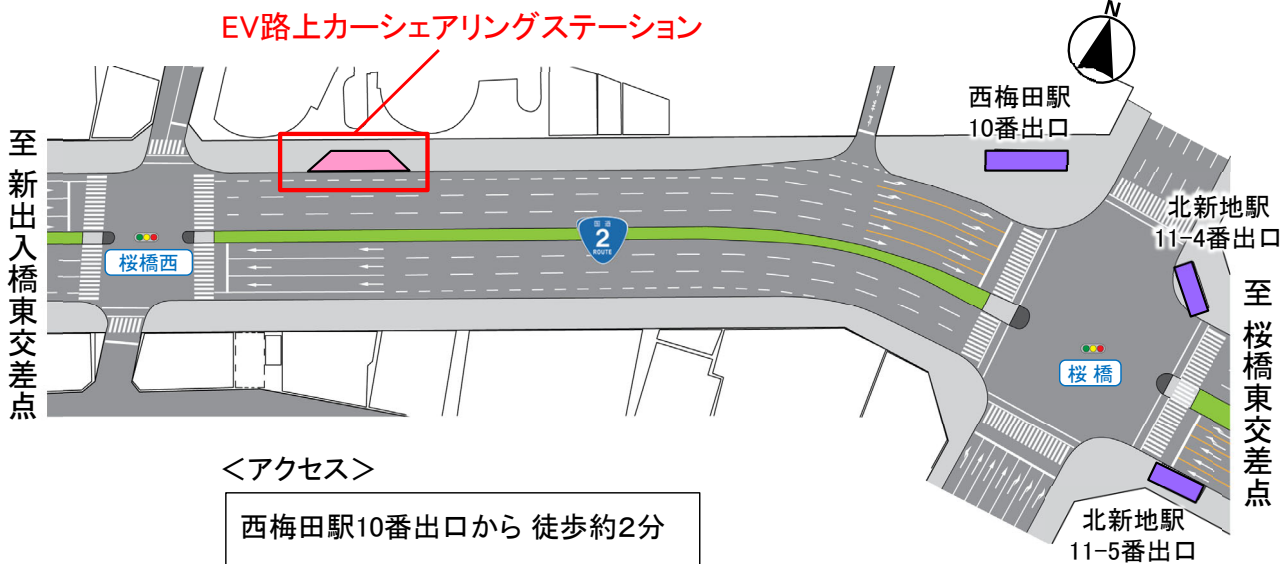
➤ 箇所①では、地下鉄 西梅田駅、JR東西線 北新地駅、阪神 大阪梅田駅、JR 大阪駅からのアクセスを想定。

位置図



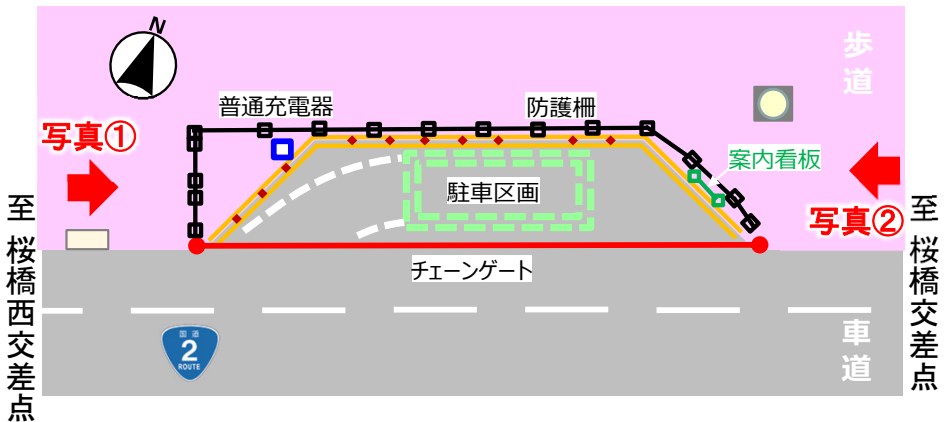
【凡例】
→ 地下鉄 西梅田駅からのアクセス経路
→ JR東西線 北新地駅からのアクセス経路
→ 阪神 大阪梅田駅からのアクセス経路
→ JR 大阪駅からのアクセス経路
※破線は地下道区間

平面図



＜アクセス＞
西梅田駅10番出口から 徒歩約2分

配置イメージ



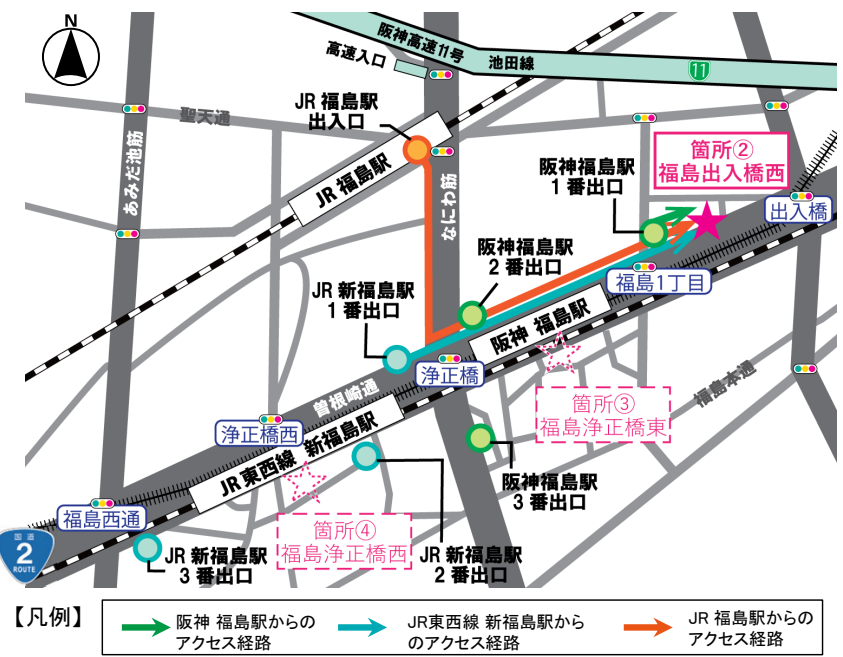
状況写真 R6. 8. 30撮影



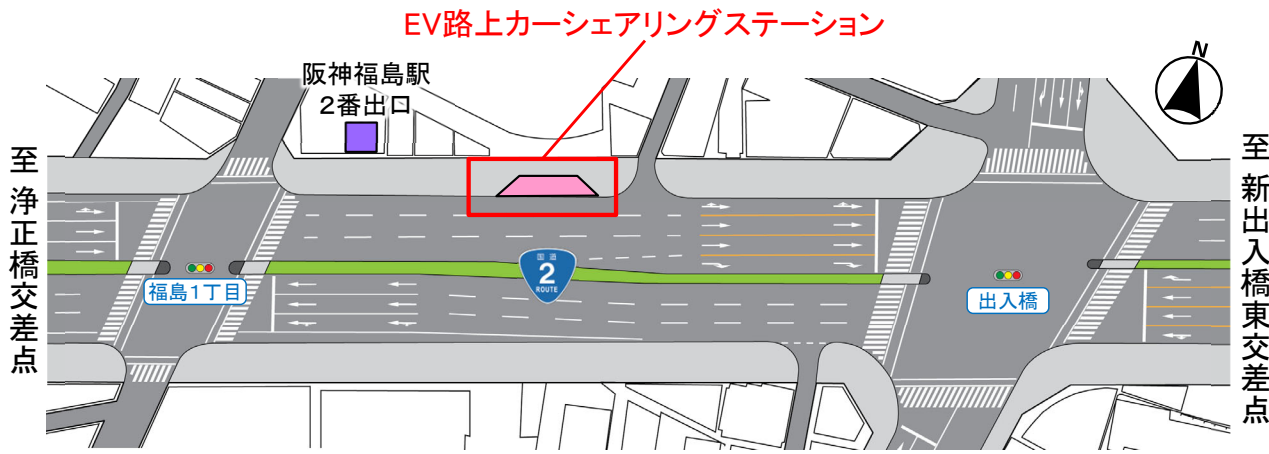
4. 箇所別の案内 箇所② 【路上】福島出入橋西(EV)L・Dステーション

➤ 箇所②では、阪神 福島駅、JR東西線 新福島駅、JR 福島駅からのアクセスを想定。

位置図



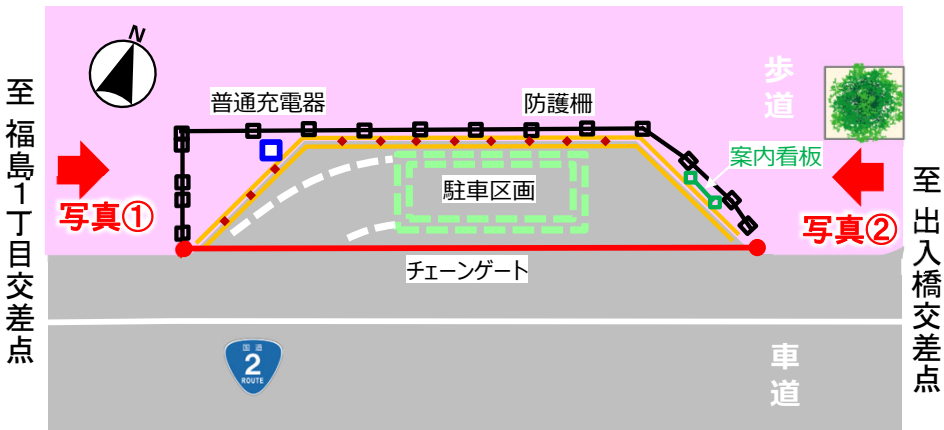
平面図



<アクセス>

阪神 福島駅2番出口から 徒歩約1分
JR 新福島駅1番出口から 徒歩約3分
JR 福島駅出入口から 徒歩約5分

配置イメージ



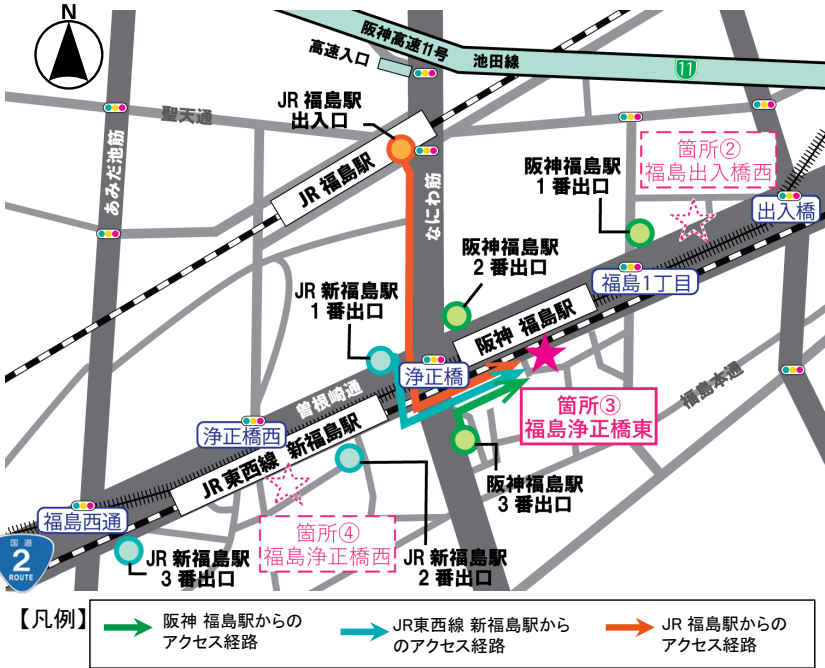
状況写真 R6. 8. 30撮影



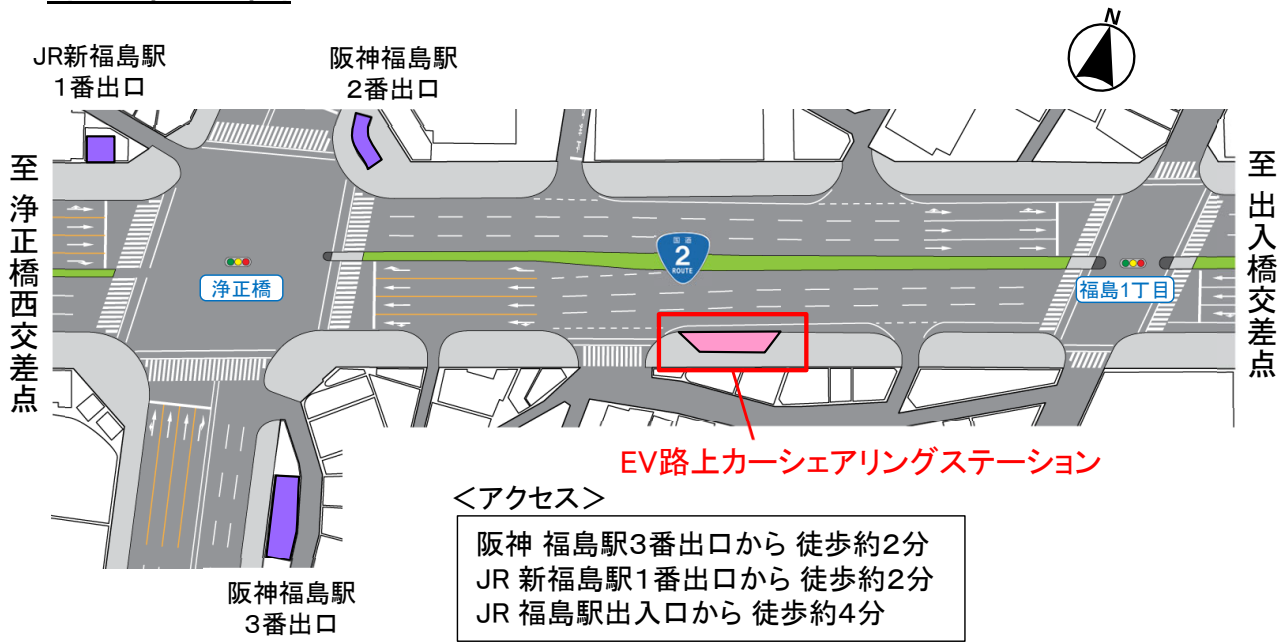
4. 箇所別の案内 箇所③ 【路上】福島浄正橋東(EV)L・Dステーション

➤ 箇所③では、阪神 福島駅、JR東西線 新福島駅、JR 福島駅からのアクセスを想定。

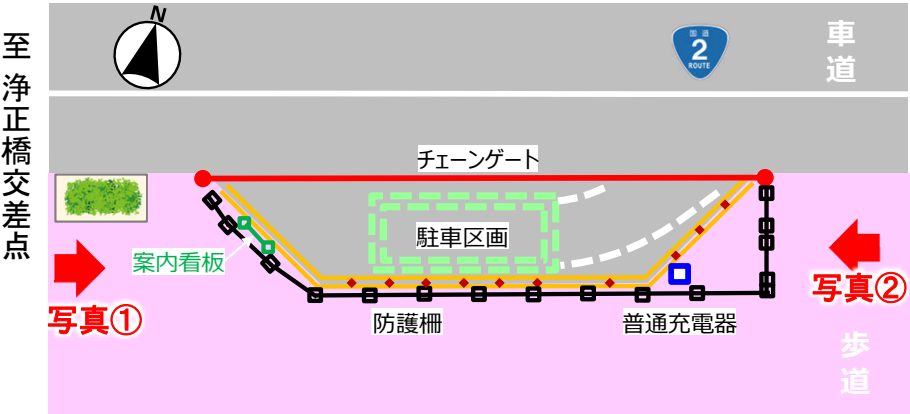
位置図



平面図



配置イメージ



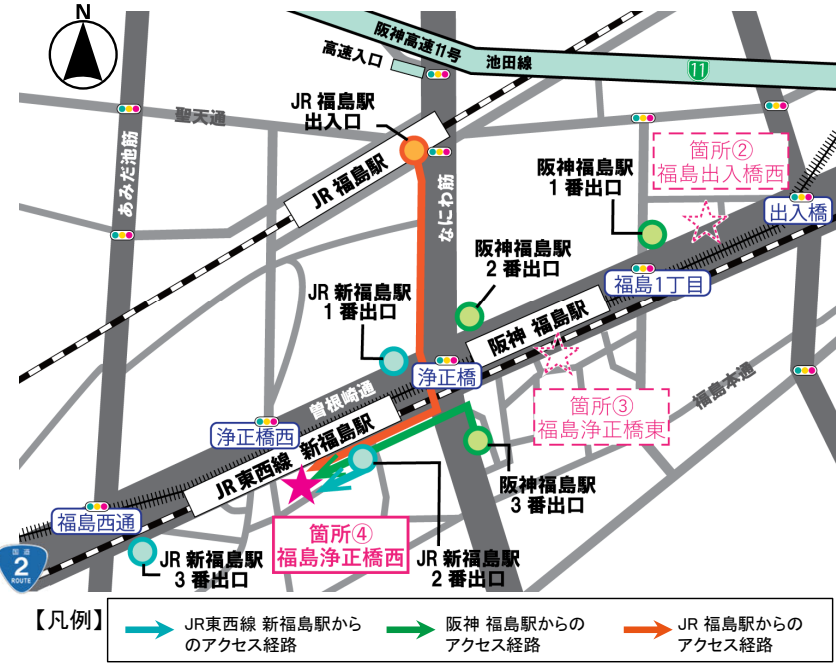
状況写真 R6. 8. 30撮影



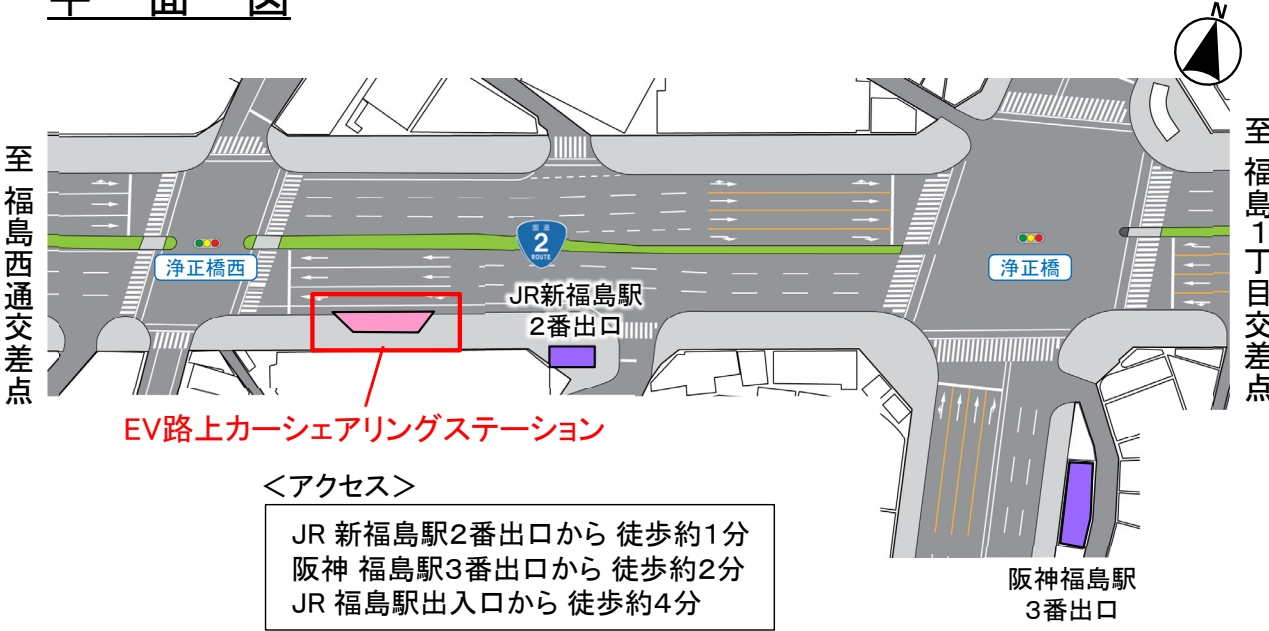
4. 箇所別の案内 箇所④ 【路上】福島浄正橋西(EV)L・Dステーション

➤ 箇所④では、JR東西線 新福島駅、阪神 福島駅、JR 福島駅からのアクセスを想定。

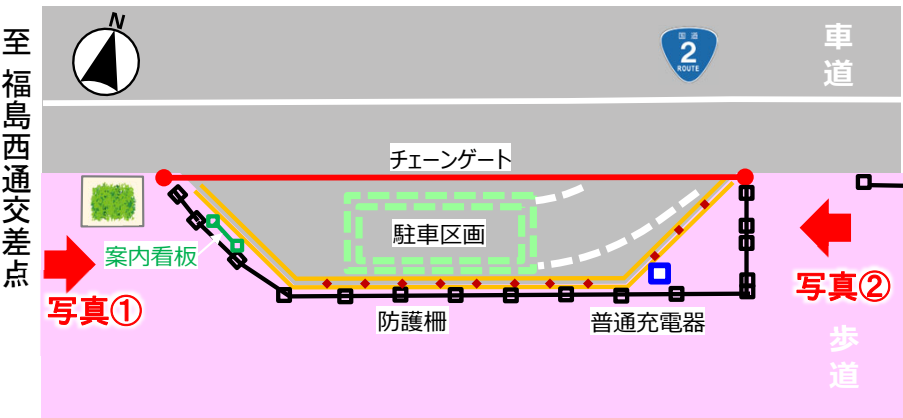
位置図



平面図



配置イメージ



状況写真 R6. 8. 30撮影



4. 箇所別の案内 箇所⑤ 【路上】東天満(EV)L・Dステーション

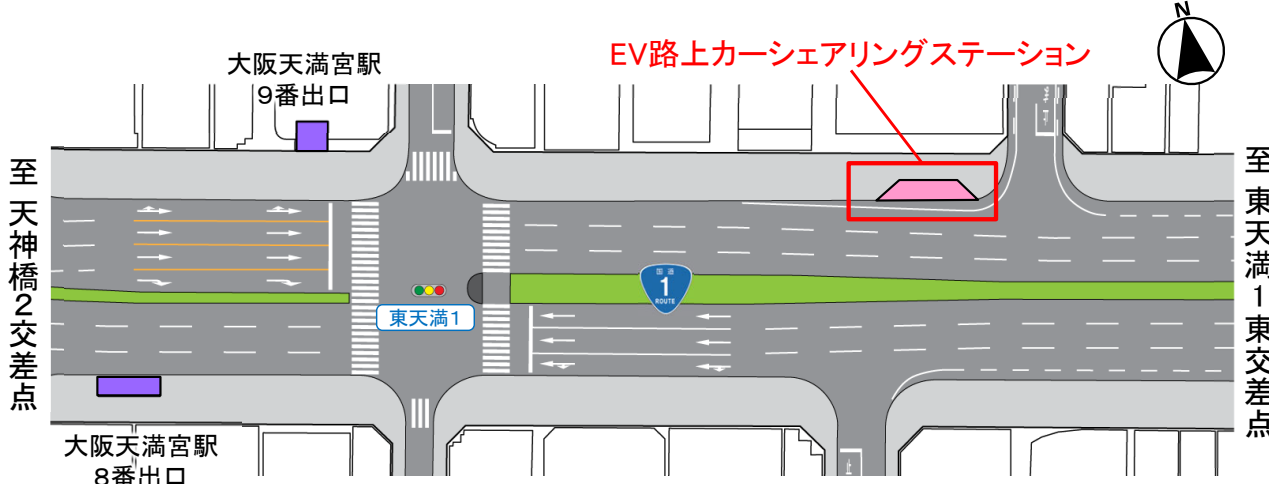
➤ 箇所⑤では、JR東西線 大阪天満宮駅、地下鉄 南森町駅からのアクセスを想定。

位置図



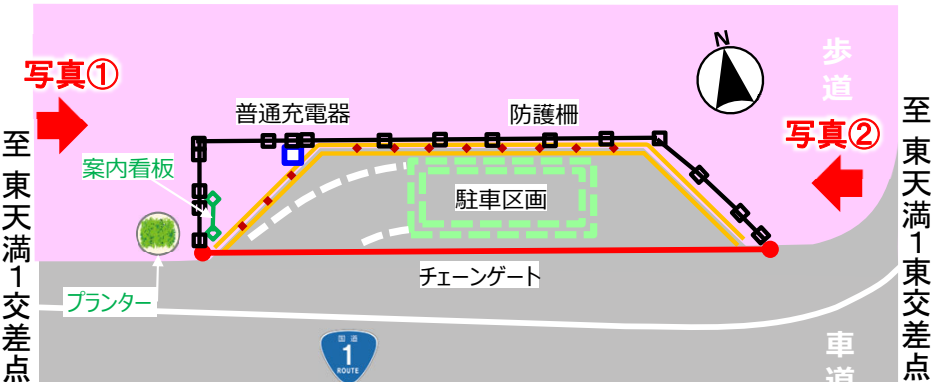
【凡例】
→ JR東西線 大阪天満宮駅からのアクセス経路
→ 地下鉄 南森町駅からのアクセス経路
※破線は地下道区間

平面図



＜アクセス＞
大阪天満宮駅9番出口から 徒歩約1分

配置イメージ



※プランターの設置位置は現地状況により変更する可能性がある。

状況写真 R6. 8. 30撮影



5. EV路上カーシェアリング社会実験使用車両

- 実験参加者であるタイムズモビリティ株式会社が、日産サクラ(EV車)を5台配備する。



サクラの基本スペック

定員	4名	油種	電気
タイムズカーナビ	○	駆動	2WD
型式	B6AW型		
カードリーダー設置場所	リヤガラス		
ボディサイズ ?	3,395mm×1,475mm×1,655mm		
トランク参考サイズ ?	350mm×1,000mm×870mm		
荷物の目安 ?	🧳×2 or 📦×4 ※型式、シートの状態により異なります		
安全装備	アラウンドビューモニター ? コーナーセンサー ? ブレーキサポート ?		
その他の装備	ETC車載器 ?		

※車両により装備が異なる場合があります。ご利用前に予約画面でご確認ください。

※ETCカードはご自身で用意ください。

※満充電時の航続可能距離目安は160kmです。

※航続可能距離は使用環境（気象、渋滞等）や運転方法（急発進、エアコン使用等）、整備状況（タイヤの空気圧等）に応じて異なります。

6. EV路上カーシェアリング利用方法 概要

利用手順

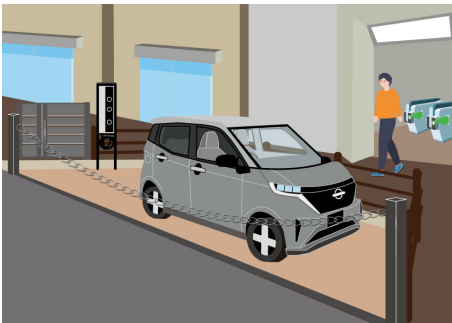
①利用予約



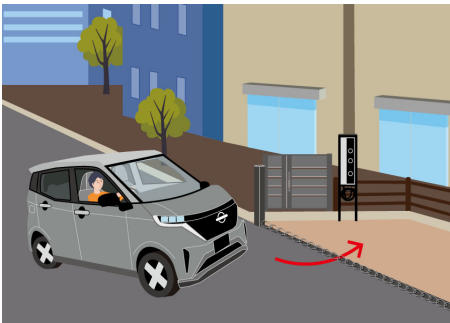
④目的地到着



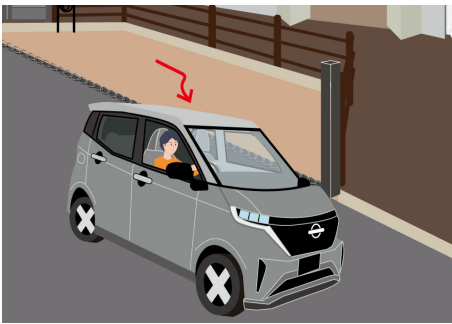
②駅近くで乗換



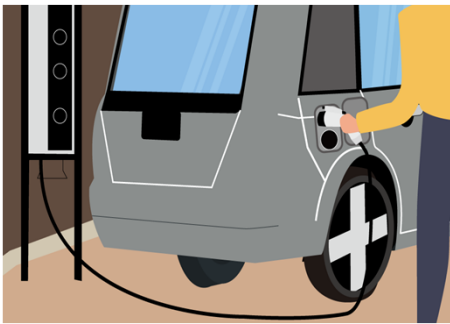
⑤カーステーション帰着



③カーシェアで移動



⑥充電・返却



EV路上カーシェアリングを活用した移動イメージ



6. EV路上カーシェアリング利用方法 (1)予約方法

- タイムズモビリティ株式会社が運用する「タイムズカー」アプリにて、EV路上カーシェアリングステーションを地図上から選択し、予約を行う。



1 日時を選択

利用日時を選択してください。
アイコンの色は、予約できるクルマがあるステーションが黄色、ないステーションが白色で表示されます。



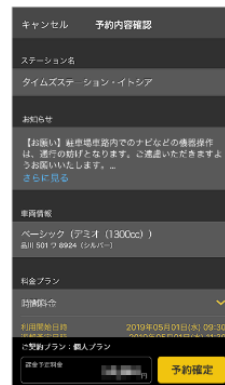
2 ステーションを選択

ご希望のステーションを選択してください。
ステーションを検索する場合は、右下の検索アイコンを押して、住所や施設名などを入力してください。
左下の絞り込みアイコンから「クラス」「定員」「車種」での絞り込み検索も可能です。



3 クラス・車種を選択

予約できるクラス・車種が表示されるので、ご希望のクルマを選択し、「予約」を押してください。



4 予約内容の確認

予約内容の確認をします。
料金プランは自動で選択されますが、手動で変更も可能です。「安心補償サービス」の加入の有無と「追加運転者登録」はこの画面から選べます。



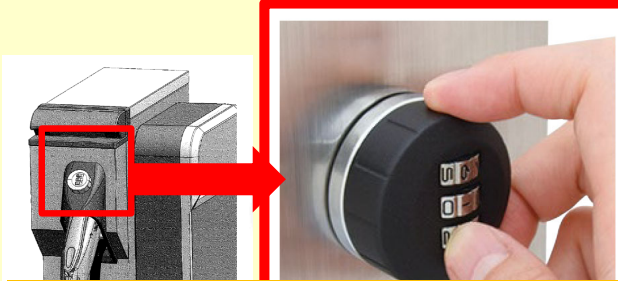
5 ご予約完了

予約内容確認画面で「予約確定」を押してください。
「予約を受付けました」と表示されましたらご予約は完了です。

6. EV路上カーシェアリング利用方法 (2)出発時の充電器操作方法

➤ 出発時には充電器のダイヤル錠を操作し、充電ケーブルを車両から取り外し、充電器に格納。

① 充電器のダイヤルが縦方向になっていることを確認してください。



もし、水平方向になっている場合は3桁のダイヤルを入れて右に90度回転してください。
(充電器のダイヤルロック解除番号は
予約登録完了メールに記載されています)

② ロック解除ボタンを押しながら、充電ケーブルを引き抜いてください

出発方法



ロック解除ボタンを押しながら
充電ケーブルを引き抜いてください

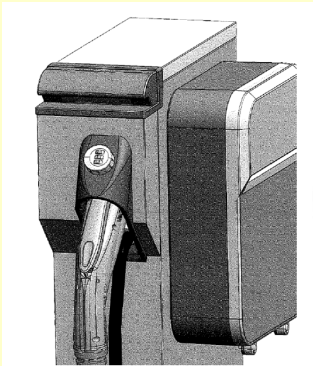
③ キャップを閉めてから充電リッドを閉めます

出発方法

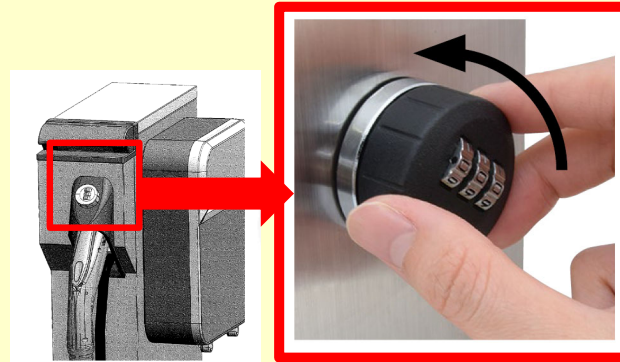


キャップを閉めてから充電リッドを閉めます

④ ケーブルを充電器本体に差し込んでください(ケーブルは自動で本体に収納されます)



⑤ ダイヤルキーを水平にして、3桁のダイヤルをランダムに回して施錠してください



6. EV路上カーシェアリング利用方法 (3)チェーンゲートの操作方法

- チェーンゲートは、車内に設置されたリモコンを用いて、利用者がチェーンゲートを操作。



6. EV路上カーシェアリング利用方法 (4)返却時の充電器操作方法

➤ 返却時には充電器のダイヤル錠を操作し、充電ケーブルを充電器から取り外し、車両に接続。

①運転席側後方の充電リッドをあけてキャップをあけてください
(上側が普通充電です)

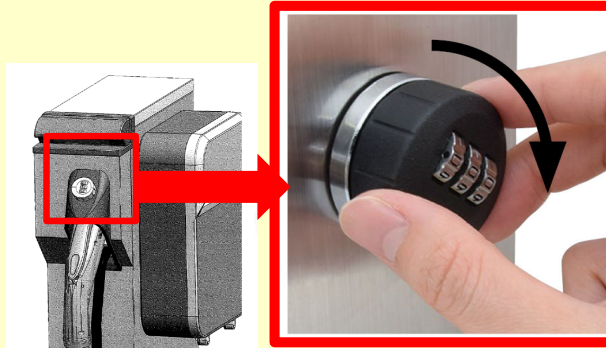
返却方法



運転席側後方の充電リッドをあけて
キャップをあけてください

サクラ B6AW型 (2022年6月～) のご利用方法 (電気自動車の使い方・返却方法) / 動画で見るタイムスカー

②充電器のダイヤルを合わせて、
つまみを右に90度回して下さい



充電器のダイヤルロック解除番号は
予約登録完了メールに記載されています

③充電器から、充電コネクタを
引き抜き、ケーブルを伸ばしながら
車両の充電口に接続してください

返却方法



必ず充電コネクタを車両に接続してください
接続されていない状態では返却できません

充電コネクタを上側のポートに接続します
上側に差し込んでください

④カチッと音がするまで差し込んでください

返却方法

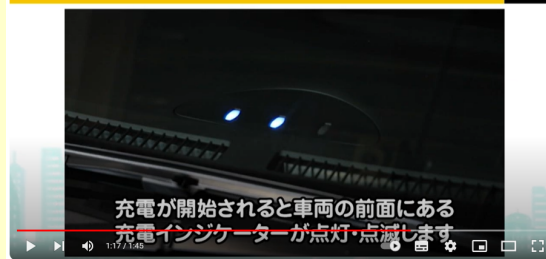


必ず充電コネクタを車両に接続してください
接続されていない状態では返却できません

カチッと音がするまで差し込んでください

⑤充電が開始されると車両の
前面にある充電インジケータ
ーが点灯・点滅します

返却方法



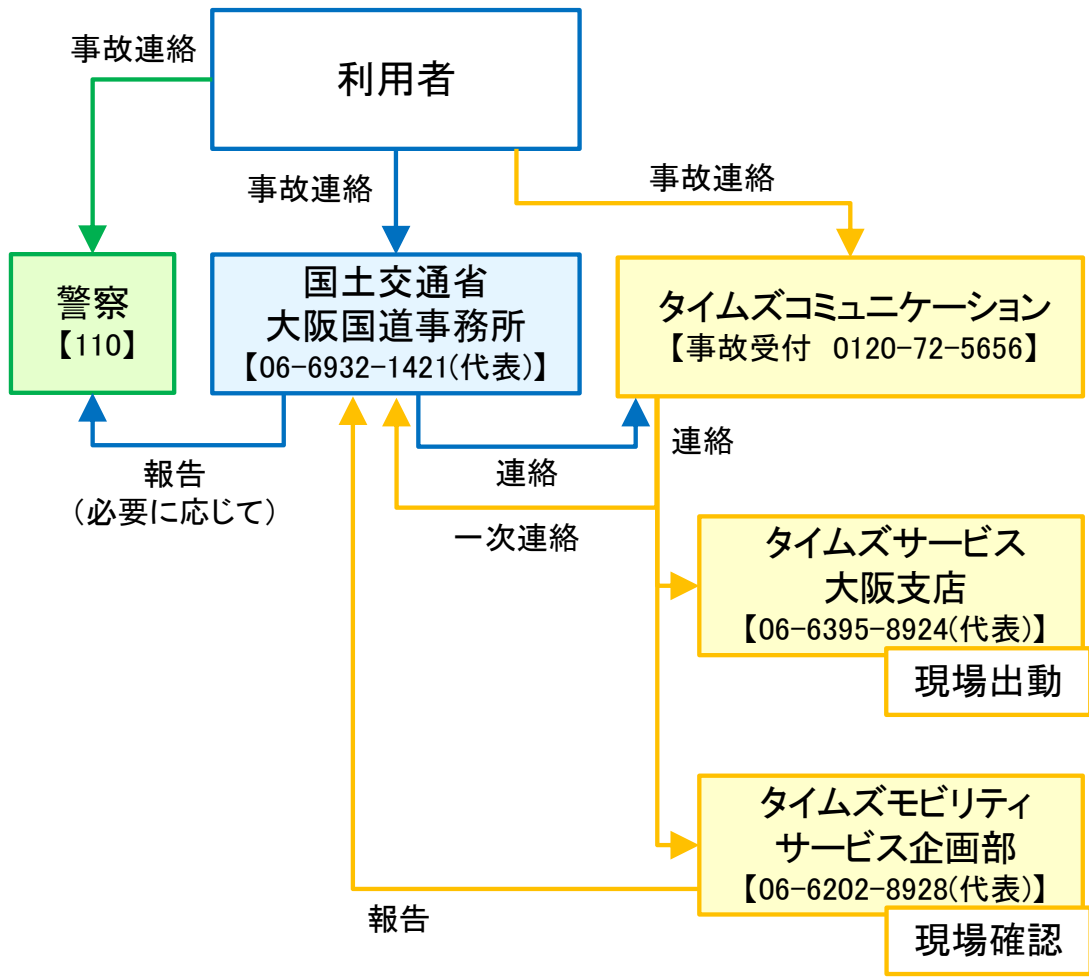
充電が開始されると車両の前面にある
充電インジケータが点灯・点滅します

サクラ B6AW型 (2022年6月～) のご利用方法 (電気自動車の使い方・返却方法) / 動画で見るタイムスカー

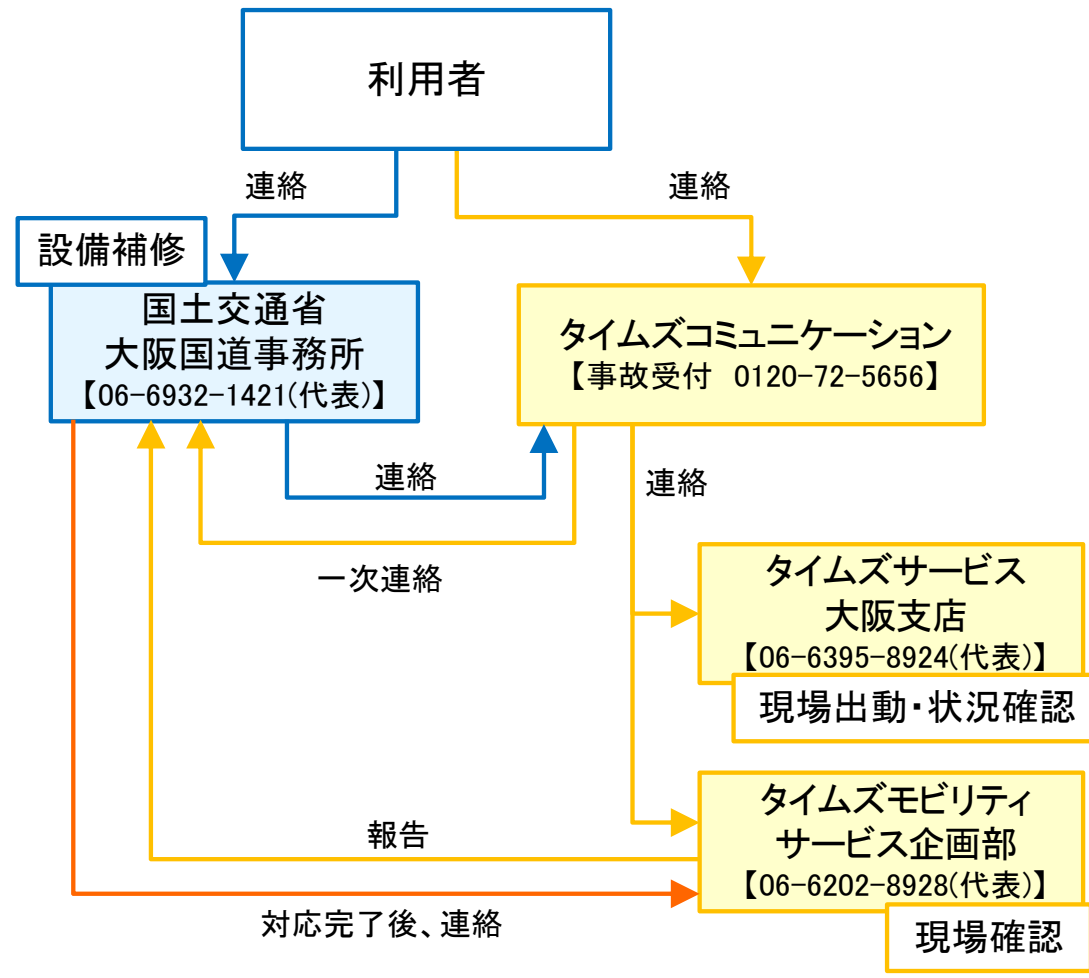
7. 連絡体制(緊急時)

- 事故時連絡体制: 交通事故発生時
- 設備トラブル発生時の連絡体制: EV充電設備・チェーンゲートに関する不具合発生時

事故時連絡体制

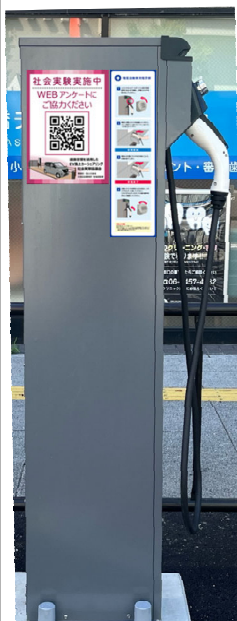


設備トラブル発生時の連絡体制



8. WEBアンケート

➤ 効果の評価のため、WEBアンケートも令和6年10月より実施する。

告知・アクセス方法	①現地QRコード読取	②タイムズカーシェア会員へのメール配信	③一般の方へのWEBアンケート配信
アンケート項目	①利用者属性・行動特性等の把握 ②カーボンニュートラル、交通利便性向上の機能（公共交通機関との連携） ③道路上へ設置することの有効性 ④STの安全性・快適性（車両の観点）・（歩行者/自転車の観点） ⑤STに設置した設備・施設等の妥当性 ⑥利用者の拡大、路上STの継続性、災害時の活用		
概要	▼現地設置イメージ  社会実験実施中 WEBアンケートにご協力ください 道路空間を活用したEV路上カーシェアリング 社会実験協議会 賛助：国土交通省 大阪府建設局 地域建設部 WEBアンケートQRコード 充電器利用手順  電気自動車充電手順 1 コネクタホルダーのディスプレイを確認 画面に充電ステーションの充電コネクタを 取り出してください。 2 車両に充電コネクタを接続してください ※この手順を安全に行うには必ず 停車してください。 3 充電開始 4 充電終了 充電完了 充電コネクタを車両から取り除き、コネクタホルダーに挿入してください。 コネクタホルダーのディスプレイに充電ステーションの ステータスが表示されます。 【重要】充電完了後、充電コネクタをコネクタホルダーに挿入し、充電ステーションのディスプレイに充電完了のメッセージが表示されます。	＜EV路上カーシェアリング利用者＞ 1ヶ月に1回、メールで配信予定 （利用された翌月に配信） ＜タイムズカーシェア会員＞ 3ヶ月に1回、タイムズカーシェア 会員メールマガジンで配信予定 【Times CAR】 「道路空間を活用したEV路上カーシェアリング社会実験」に関するアンケートのご案内 ※本メールは、国土交通省による「道路空間を活用したEV路上カーシェアリング社会実験」対象ステーションをご利用いただいた会員様にお送りしております。 日頃よりタイムズカーをご利用いただき、誠にありがとうございます。 国土交通省大阪国道事務所が、社会実験に関するアンケートを実施しております。 「道路空間を活用したEV路上カーシェアリング社会実験」に関するアンケート https://xxxxxxx ※URLが途中で改行されている場合は、コピーをして、一行のアドレスにしてからアクセスしてください アンケートに関するお問い合わせ先 XXXXXXXXXX 担当：XX ご回答期限： 設問数：xx問～xx問（所要時間xx分程度） ■注意事項 ・アンケートページの＜注意事項＞をご確認のうえ、ご回答ください	＜京阪神都市圏在住の方＞ 3ヶ月に1回、WEBモニターへメール 配信予定  この質問を表示する条件 “Q3” で “利用したことがある” を “選択した” Q7. 出発地（自宅・会社等）からEV路上カーシェアリングステーションまでは、どの交通手段で来られましたか。 （いくつでも） （複数選択） ☐ 鉄道（乗車駅を教えてください） ☐ バス（乗車したバス停を教えてください） ☐ タクシー ☐ 自転車 ☐ 徒歩 ☐ その他

▲メール配信(例)

▲アンケート回答画面(一例)

8. アンケート調査 設問 ①利用者属性・行動特性

変更なし

- 第2回協議会で提示したアンケート設問を修正。
- 利用者属性・行動特性に関する検証項目と対応する設問を作成。

設問	回答	対象者	調査手法	対応する検証項目
Q1-1:あなたの年代を教えてください。	・10代 ・20代 ・30代 ・40代 ・50代 ・60代 ・70代 ・80代	A:利用者 B:未利用者	①QR ②メール ③WEB配信	①-2:利用者の属性の把握
Q1-2:あなたの性別を教えてください。	・男性 ・女性 ・回答しない	A:利用者 B:未利用者	①QR ②メール ③WEB配信	①-2:利用者の属性の把握
Q1-3:EV路上カーシェアリングの利用目的を教えてください。 ※利用していない方は、EV路上カーシェアリングを利用したい移動目的をお聞きする。	・買い物 ・通院 ・レジャー ・通勤 ・業務上の移動 ・その他（記述: ）	A:利用者	①QR ②メール ③WEB配信	①-2:利用目的
Q1-4:あなたのお住まいを教えてください。 ※「業務上の移動」での利用の方は、出発地（会社等）の所在地を教えてください。	()都・道・府・県 ()市・区・町・村	A:利用者 B:未利用者	①QR ②メール ③WEB配信	①-2:利用者の属性の把握
Q1-5:出発地（自宅・会社等）からEV路上カーシェアリングステーションまでは、どの交通手段で来ましたか。 （複数回答可）	・鉄道（どの駅からですか: ） ・バス（どのバス停からですか: ） ・タクシー ・自転車 ・徒歩 ・その他（記述: ）	A:利用者	①QR ②メール	①-2:公共交通機関（鉄道/バス）の利用 ②-2:CO2排出削減量の検証（予測検討） <u>※カーシェア利用前後の公共交通利用率を算定し、CO2排出削減量の試算に活用。</u> ②-3:公共交通機関と組合せたST利用実態 ②-4:交通利便性向上の評価 ③-6:多様なモビリティの有効性の確認
Q1-6:利用したEV路上カーシェアリングステーションはどこですか。	<u>※5箇所を地図で示す</u>	A:利用者	②メール	①-2:利用場所
Q1-7:どなたとEV路上カーシェアリングを利用しましたか。 ※利用していない方は、誰と利用したいかをお聞きする。	・一人で ・家族と ・友達と ・仕事の関係者で ・その他（記述: ） ※乗車人数もお聞きする。	A:利用者 B:未利用者	①QR ②メール ③WEB配信	①-2:利用者の属性の把握 ③-4:複数人の乗車ニーズの確認

8. アンケート調査 設問 ②カーボンニュートラル

赤字修正箇所

➤ カーボンニュートラル、交通利便性向上の機能（公共交通機関との連携）に関する検証項目と対応する設問を作成。

設問	回答	対象者	調査手法	設問意図
Q2-1: EV車のカーシェアリングを選択した理由を教えてください。(複数回答)	・走行中にCO₂が発生しない(環境にやさしい)から ・エネルギーコスト(燃料費)を抑えられるから ・騒音や振動が小さいから ・すみやかに加速できるから ・試しに乗りたかったから ・特に車両にこだわりはない ※EV車のメリットを別途説明を追加	A: 利用者	①QR ②メール	②-1: 道路分野でのカーボンニュートラル(環境負荷軽減)に関する取り組み
Q2-2: EV車のカーシェアリングを利用したいと思いますか。	・利用したい ・利用したくない ・分からない ※EV車のメリットを別途説明を追加	A: 利用者 B: 未利用者	①QR ②メール ③WEB配信	②-1: 道路分野でのカーボンニュートラル(環境負荷軽減)に関する取り組み
Q2-3: 今回乗車されたEV車と普段乗車されているガソリン車両と比較して感じたことを教えてください。(複数回答)	・想定よりも加速がスムーズだったorなかった ・想定よりも長時間運転できたorできなかった ・想定よりも騒音が小さかったor大きかった ・想定よりも振動が小さかったor大きかった ・その他(記述:) ・特に何も感じなかった ・普段からEV車に乗車している	A: 利用者	①QR ②メール	②-1: 道路分野でのカーボンニュートラル(環境負荷軽減)に関する取り組み
Q2-4: EV路上カーシェアリングが無かった場合に、出発地(自宅・会社等)から目的地までの今回の外出は、どの交通手段を利用したと思いますか。(複数回答)	・鉄道 ・バス ・タクシー ・自家用車 ・自転車 ・徒歩 ・通常のカーシェアリング ・外出をしていない(EV路上カーシェアリングを利用できるので、外出しようと思った) ・その他(記述:)	A: 利用者	①QR ②メール	②-1: 道路分野でのカーボンニュートラル(環境負荷軽減)に関する取り組み
Q2-5: [公共交通を利用した方限定]公共交通機関との乗り換えは便利でしたか。	・便利だった ・不便だった ・わからない	A: 利用者	①QR ②メール	②-4: 交通利便性向上の評価 ③-2: 道路上へのST設置の評価(立地等)
Q2-6: EV路上カーシェアリングの普及により、交通手段の選択肢が増えたと思いますか。	・新たな選択肢が増えたと思う ・新たな選択肢が増えたと思わない	A: 利用者 B: 未利用者	②メール ③WEB配信	②-4: 交通利便性向上の評価

8. アンケート調査 設問 ③道路上にSTを設置する必要性

➤ 道路上にSTを設置する必要性に関する検証項目と対応する設問を作成。

赤字追記・
修正箇所

設問	回答	対象者	調査手法	設問意図
Q3-1: EV路上カーシェアリングステーションの設置数(5箇所予定)は適切だと思いますか。	・適切である ・足りていない ・多すぎる ※箇所は地図で示す	A: 利用者 B: 未利用者	②メール ③WEB配信	③-2: 道路上へのST設置の評価
Q3-2: [足りていないと回答した方限定]どの地域に増やしてほしいですか。	・大阪市内 ※区別で確認 ・大阪府内 ※市町村別で確認 ・大阪府外 ※市町村別で確認	A: 利用者 B: 未利用者	②メール ③WEB配信	③-3: 道路上STの増設ニーズの確認
Q3-3: 路上カーシェアリングステーションが増えたら、自宅から公共交通に乗ってから、カーシェアリングを利用する可能性が増えると思いますか。	・増えると思う ・変わらない ・分からない	A: 利用者 B: 未利用者	②メール ③WEB配信	③-3: 道路上STの増設ニーズの確認 ②-4: 交通利便性向上の評価
Q3-4: 一般的な駐車場等に設置されているカーシェアリングステーションに比べ、路上カーシェアリングステーションでカーシェアリングを利用できることは、便利だと思いますか。	・便利だと思う ・変わらないと思う ・不便だと思う ・分からない	A: 利用者 B: 未利用者	②メール ③WEB配信	③-2: 道路上へのST設置の評価(立地等)
Q3-5: 一般的な駐車場等に設置されているカーシェアリングステーションではなく、路上カーシェアリングステーションを利用した理由を教えてください。(複数回答)	・幹線道路へのアクセスが良いから ・ステーションの場所が分かりやすいから ・電気自動車(EV車)を利用できるから ・駅やバス停に近いから ・その他(記述:)	A: 利用者	①現地QR ②メール	③-2: 道路上へのST設置の評価(立地等)
Q3-6: 路上カーシェアリングステーションの立地として、どの施設に近接していることが望ましいと思いますか。	・駅 ・バス停 ・スーパーマーケット ・コンビニエンスストア ・市役所/区役所 ・病院 ・その他(記述:)	A: 利用者 B: 未利用者	②メール ③WEB配信	③-2: 道路上へのST設置の評価(立地等)
Q3-7: 路上カーシェアリングステーションで借りられる車両は日産サクラ(定員4名)に限定されていました。車両の乗車定員について考えを教えてください。	・軽自動車(定員4名)が良い ・普通自動車(定員5名)が良い ・超小型の軽自動車(定員1~2名)が良い	A: 利用者 B: 未利用者	②メール ③WEB配信	③-4: 複数人の乗車ニーズの確認
Q3-8: 他のシェアリングサービス(シェアサイクル、電動キックボード等)ではなく、カーシェアリングを利用される理由を教えてください。	・自動車の方が速いから ・自動車の方が安全だから ・荷物が多いから ・複数人で乗車できるから	A: 利用者	②メール ③WEB配信	③-6: 多様なモビリティの有効性の確認

8. アンケート調査 設問 ④STの安全性・快適性

変更なし

➤ STの安全性・快適性に関する検証項目と対応する設問を作成。

設問	回答	対象者	調査手法	設問意図
Q4-1: EV路上カーシェアリングステーションから車道に出入りする際、スムーズに出庫することができましたか。(複数回答)	・スムーズに出入りできた ・ハンドルを切るタイミングの判断が難しかった ・柵や縁石等との接触が気になった ・カーステーションから出る際に、車道を走る車両を確認しづらかった ・カーステーションに入る際に、後続車との追突が気になった ・その他(記述:)	A: 利用者	①QR ②メール	④-1: ST形状の出し入れのしやすさの確認
Q4-2: EV路上カーシェアリングステーションの出入りの際、安全に出入りできましたか。	・安全に出入りできた ・ヒヤリとする場面があった (どのような状況か記述:)・分からない	A: 利用者	①QR ②メール	④-2: ST入出庫時のヒヤリ経験の確認
Q4-3: ドライバーの観点から、路上カーシェアリングステーションが設置に伴う車の出入りにより、走行の安全性に影響があると思いますか。	・ほとんど安全性に影響は無いと思う ・やや安全性に影響があると思う ・大いに安全性を損なうと思う ・分からない	A: 利用者 B: 未利用者	①QR ②メール	④-3: 道路利用者から見たST入出庫時の影響確認
Q4-4: EV路上カーシェアリングステーション付近での歩行者や自転車の走行に問題はなかったですか。	・特に問題ない ・問題があると感じる(どのような点に問題があるか記述:) ※例: 自転車とぶつかりそうになった、歩行者が多くて歩きづらい	B: 未利用者 ※B-1限定	①QR	④-6: 歩行者動線の阻害

8. アンケート調査 設問

⑤STに設置した設備・施設等の妥当性 ⑥利用者の拡大

➤ 設備・施設等の妥当性、利用者の拡大に関する検証項目と対応する設問を作成。

変更なし

設問	回答	対象者	調査手法	設問意図
Q5-1: 充電器の使い方は分かりやすかったですか。	・分かりやすい ・普通 ・分かりにくい	A: 利用者	①QR ②メール	⑤-1: 充電機器の使いやすさ・設置位置
Q5-2: 充電器の設置位置は、利用しやすかったですか。	・現在の位置(車両後方)が良い ・車両前方にあった方が良い ・車両の真横にあった方が良い	A: 利用者	①QR ②メール	⑤-1: 充電機器の使いやすさ・設置位置
Q5-3: 充電コードの長さは、利用しやすかったですか。	・ちょうど良い ・長い ・短い	A: 利用者	①QR ②メール	⑤-1: 充電機器の使いやすさ・設置位置
Q5-4: チェーンゲートのリモコン操作等は、使いやすかったですか。	・使いやすかった ・使いにくかった	A: 利用者	①QR ②メール	⑤-2: 設備の使用しやすさ
Q5-5: どのような設備があれば、もっと便利になると思いますか。	・上屋(屋根) ・Wi-Fiスポット ・駐輪場 ・電動キックボードのシェアポート ・特に無い	A: 利用者	①QR ②メール	⑤-3: 設置すべき施設ニーズの確認 ③-6: 多様なモビリティの有効性の確認
Q6-1: EV路上カーシェアリングステーションを選択した理由は何ですか(複数回答)	・自宅から近い ・場所が分かりやすい ・新しい取組だから ・EV車が使えるから ・公共交通機関との乗継が便利だから	A: 利用者	①QR ②メール	⑥-1: 利用のきっかけ ②-4: 交通利便性向上の評価
Q6-2: EV路上カーシェアリングステーションを知ったきっかけを教えてください。	・タイムズカーアプリで地図に表示された ・通りがかり ・路上カーシェアの看板を見て ・大阪国道事務所のHP ・その他(記述:)	A: 利用者	①QR ②メール	⑥-1: 利用のきっかけ ※周知方法について事前に要確認
Q6-3: 今回はラウンドトリップ方式でしたが、どのようにお考えですか。	・ラウンドトリップ方式で問題ない ・ワンウェイトリップ方式が良い ・分からない ※ラウンドトリップ方式とワンウェイトリップ方式の違いはポンチ絵等で示す	A: 利用者 B: 未利用者	①QR ②メール ③WEB配信	⑥-2: 運営方式(ラウンドトリップ方式)の確認
Q6-4: EV路上カーシェアリングの取り組みを知っていましたか。	・知っていた ・知らなかった	B: 未利用者	③WEB配信	⑥-3: 路上カーシェアの認知度

②工事進捗状況

1. 工事進捗状況

- 箇所①②③: 8月末で、カーステーションの設置が完了。
8月末以降で、看板・周辺舗装工事を実施予定。
- 箇所④⑤: 9月中旬までに充電機器・舗装・横断防止柵・門扉等の設置が完了予定。
- 案内看板: 看板製作中。9月中旬までに設置予定。

着手前

8月30日時点

着手前

8月30日時点

箇所①
大阪
西梅田



箇所④
福島
浄正橋
西



箇所②
福島
出入橋
西



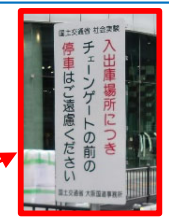
箇所⑤
東天満



箇所③
福島
浄正橋
東



看板関係



◀注意喚起看板設置状況
案内看板デザイン▶
(社会実験周知看板)

